

## 【寄稿】

### 新情報システム学体系調査研究委員会の状況と今後の方針のご報告

新情報システム学体系調査研究委員会 渋谷照夫

新情報システム学体系調査研究委員会（以降、体系化委員会と略す）の活動状況と今後の活動方向、方針について、報告致します。

当体系化委員会は当学会の基本方針に沿い、その中核を担う委員会として、「人間中心の理念に沿った新しい I S 学の体系を確立、社会に発信する」というミッションを持って活動を推進しております。

特に、当学会の5つの基本方針の内、特に以下の2項目について、具体的な施策を検討して企画、実行して参ります。

- 1) 情報システムについて人間活動を中心とした仕組みと考える理念を社会に広める
- 2) 情報システム学の確立進展のために理念の具現化研究を実施し成果を公表する

次に当体系化委員会の2017年度活動の基本方針を以下に列挙、紹介しておきます。

- 1) 新情報システム学本論の構想推進と編纂の遂行：
  - ・2014年に発刊した新情報システム学序説に対して、第1部での情報システムの概念形成を更に検討を深め、かつ分かり易く説明すること。そして、その第1部と第2部の連携を図ること、第2部で情報システムの本質的な開発モデル・プロセス、及び条件や環境による展開方法を明示すること。
  - 構想の視点として、システムライフサイクル、超上流の取り組み、パターンゲージ、存在従属グラフ等の活用を図ること。また、IS企業の最近の取り組み動向の把握と活用をすること。
  - ・具体的な成果物として本論編纂か、序説の改訂（本質的な部分だけ変更）とするかの方針を検討予定。
- 2) 当 I S S J 学会内部での連携強化：序説等の体系化委員会の成果物と基礎情報学研究会、HIS研究会、IS技術者のためのPsytech研究会などとの交流、連携を強化。
- 3) 外部への研究成果公開、啓蒙：新情報システム学を中心とした当学会研究成果を積極的に外部団体組織へ発信すること。J17、RISTEXなどへの連携、参画を図ること。

当体系化委員会の今年度の最優先活動テーマである「新情報システム学本論」の構想推進と編纂の遂行について、その活動状況を以下に報告します。

<新情報システム学本論の構成方針>

- ・新情報システム学の定義を前提、論拠とする実践的な学問であることを踏まえる。  
「世の中の仕組みを情報システムとして考察し、その本質を捉え、そこに横たわる問題を究明し、そのあり様を改善することを目指す。」

- ・序説の枠組みを残し、基本としてそれを改訂とする方針とする。  
第1部サイエンス、第2部エンジニアリング、第3部教育をメインとして構成する。
- ・第1部では、序説で掲げた情報システム構築プロセスにおける3層構造の概念定義(生命情報、社会情報、機械情報)とその関係プロセスをより分かり易く記述する。
- ・第2部では第1部の概念定義とのつながりを明確にした記述とする。  
情報システムの本質的な開発モデル・プロセス、及び条件や環境による展開方法を明示する。ソフトウェアの開発ではなく、人間中心の情報システム開発のプロセスを明示する。情報システム問題のケーススタディについてもこの人間中心の情報システムの定義に照らして、問題分析し改善指摘する。
- ・第3部では教育、育成を中心として、記述し、当学会が提言しているISプロデューサの育成を目指すこととする。  
ー情報システム開発プロセス : ISプロデューサ  
ーソフトウェアの開発プロセス : ソフトウェアエンジニア
- ・各部ともレベルを上げ、事例も出来るだけ充実させて、序説発刊後の講演会内容、委員会討議結果も分析して反映するように努める。
- ・本論の読者層についても再度、次のように定義を徹底する。  
序章、第1部は一般市民、IS関係者以外にも理解できるようにより分かり易く説明する。第2部、第3部は、大学の先生、情報工学系の学生、そして、企業、官公庁・行政など組織の情報システム、ソフトウェア技術者を読者ターゲットとしてゆく。

新情報システム学本論の編纂、発刊の主要なスケジュールは、以下のように予定しております。

- ・本論の序章、第1部～第3部の章立て、各章の変更、追加ポイントの作成 : 2017年度下期実施中。 2018年3月までに作成、レビュー完了予定。
- ・本論の編纂計画(本論構成、執筆体制、スケジュールなど)策定 : 2018年度1Q予定。
- ・本論の執筆、編纂 : 2018年度中に完成、発刊を目標。

2018年度初めには当学会会員の皆様に執筆方針、計画を発表する予定です。ご意見、ご協力を賜ればと思います。またその中で有志の方々の参画を期待しております。

今後も当体系化委員会の状況を、メルマガを含めて、詳細報告して参ります。

以上